

受入団体名：草津市 環境経済部 商工観光労政課

募集人数

プロジェクト名：草津ブランドのPR戦略を考える

4～10名

<活動期間：2023年10月初旬～2023年12月下旬 活動日数：25日程度>

<活動日or 活動パターン>

週1日程度・定例、月1～2回・不定期 その他

<主な活動場所>

草津市商工観光労政課、立命館大学、エイスクエア等

(最寄駅・バス停など：JR草津駅)

<活動の流れ>

日時	活動内容
10月初旬	草津ブランドについて事前学習、班分け、SNS開始
10月中旬	草津ブランド認証事業者への取材、ミーティング①
～	イベントに向けてのツールづくり
11月初旬	健幸フェスタ@立命館大学出店手伝い
11月中旬	草津ブランド市@エイスクエア出店手伝い
12月初旬	振り返り、分析、ミーティング②
12月下旬	企画書・作成物提出

<キャンパスからの交通手段>

JR琵琶湖線 草津・米原方面
(JR南草津駅→JR草津駅)

<活動に必要な費用>

活動場所までの交通費

<参加の姿勢>

草津市内の事業者とのやりとり、発信など積極的に行ってください。

<コミュニケーションの手段>

電子メール Facebook

LINE 電話

その他()

<活動のテーマと主な内容>

草津ブランドの認知力向上のためにPR戦略を考える

草津ブランド推進協議会では、草津市が全国に誇れる地域の特色のある農水産物や加工品・工芸品を「草津ブランド」に認証し、普及・啓発活動を行っています。

今回のシチスタでは、実際に草津ブランド認証事業者の元に取材に行き、どういった思いで商品を作られているかを聞いた上で、各商品のPR戦略について学生ならではの視点で能動的に考えていただきます。11月に行われる2つのイベントを通じて、実際に考えたPRについて実証実験を行い、消費者の声等も聴いた上で、PR戦略について分析を行っていただきます。

最終的には学生の考える「草津ブランドのPR戦略」についてまとめていただき、企画書を提出していただきます。

<活動する現場で学生が求められる背景(理由)>

現在15品目認証されている草津ブランドはまだまだ認知度が低いのが現状です。

情報に敏感で、発信力のある学生の視点をPR戦略に取り入れることによって、少しでも多くの方に草津ブランドが認知され、最終的には草津市のPRが行えることが目的です。

<学生が期待できる学び>

・「企画力・計画力を養う」

ゼロから企画し、決められた日までに完成できるように計画を立て、実施するまでを実際にやってみて学ぶことができます。

・「積極性を磨き、チームワークと社会性を磨く」

事業者の方との連絡等も一から学生自身で行っていただきます。決められたことを指示通り行うプログラムではなく、一人ひとりが積極的にアイデアや意見を出し、チームで動くことで今後社会に出て必要な自発性や社会性を養うことができます。

・草津の魅力を発見し、周囲に伝えられるようになる

本取り組みを通じて、草津市のことを知り、自分の言葉で地域の魅力について伝えられるようになります。

<活動紹介(草津ブランド推進協議会について)>



草津ブランド推進協議会

草津市は、古くから良質な近江米の生産地であるとともに、琵琶湖に近い地域では、水菜や大根、ほうれん草、小松菜、愛彩菜など魅力あふれる農産物が多くあります。その農産物や琵琶湖固有の水産物を本格的なブランド化に向け、平成26年12月に農水産業や流通の関係者らで「草津ブランド推進協議会」を設立しました。

協議会では、消費・販売ニーズに対応した草津ならではの価値や個性を持つ商品を草津ブランドとして認証しています。令和元年度より、草津ブランドをより多くの人に知ってもらい、全国へ誇れるブランドとして育てていきたいということから、認証対象品目を拡大し、加工品・工芸品もブランドの対象といたしました。

今後はこの草津ブランドを皆様と一緒に地域で育て、地産地消につなげることで地域産業の活性化や草津市のイメージアップを図り、皆様に愛され、全国に誇れるブランドへと育てていきたいと考えております。

●草津ブランド認証商品

草津メロン、愛彩菜、匠の夢、琵琶湖元気アスパラ、草津あおばな、琵琶湖からすま蓮根、うばがもち、東海道草津宿 天井川、松里もなか/松里みかさ、純米吟醸草津政所 / 単式蒸留焼酎大吟醸粕取焼酎草津政所、ロートアイアンによる鉄製品、金属工芸品、草津焼、瓢箪、鍛造による鉄製品(日本刀) (順不同)

●主な活動

メディアへの情報提供、イベントの開催・出展、啓発パンフレット等の作成、入手機会の増加促進など

<活動紹介(これまでの活動の様子)>

2022年シチズンシップ・スタディーズ (新商品開発プロジェクト)の様子



▲ホテルや事業者を実際に取材し、草津ブランドについて知識を得ました。



▲積極的に意見を出し合い企画立案し、ホテルにプレゼンを行いました。



▲企画した商品が実際に商品化されメディアでも取り上げられました。

2021年シチズンシップ・スタディーズ (草津ブランドを広めよう!)の様子



▲事業者への取材や、草津ブランドを使ったレシピを考案し、草津ブランドのパンフレットを作成しました。



▲生協とコラボし、新メニューの開発や販売会@立命館大学を自主的に企画立案し実行しました。



▲びわこ・くさつ健幸フェスタ2022の様子